

静岡市教育大綱策定に対する市民意見の反映について

1 パブリックコメント概要

- 実施期間：令和6年6月26日（水）から7月29日（月）まで
- 実施手段：インターネットの専用フォームまたは紙用紙にて、意見を回収
- 意見提出状況：42名から75件の意見提出あり。

2 教育大綱（案）資料2への主な反映状況

- パブリックコメント 番号24（資料1－2 7ページ）
「白背景に黄色文字など、ユニバーサルデザインの配慮が必要」
⇒大綱3ページ目：カラーユニバーサルデザインの観点から、黄色を修正し、各文字の輪郭を黒で着色した。
- パブリックコメント 番号21（資料1－2 7ページ）
「基本方針1に、性的マイノリティも加えてほしい」
⇒大綱4ページ目：性的マイノリティを加筆した。
- パブリックコメント 番号43（資料1－2 10ページ）
「基本方針1の主体が分かりにくい」
⇒基本方針1「誰一人取り残されず、全ての人の可能性が引き出される」とし、市民を主体とする表現に修正した。
- パブリックコメント 番号47（資料1－2 11ページ）
「基本方針1に子どもだけでなく、親に向けた支援の視点を加えてほしい」
⇒大綱5ページ目：基本方針1及び基本方針2に、保護者に向けた支援を加筆した。
- パブリックコメント 番号44（資料1－2 11ページ）
「基本方針3の確かな学力・教養・人間性に対する考え方を示してほしい」
⇒大綱6ページ目：それぞれの用語の考え方を本文中に加筆した。

3 ワークショップ概要

- 実施期間：令和6年8月2日（金）10時から12時まで
- 参加者：市内中学校・高等学校の学生 計27名
- 実施方法：参加者を5グループに分け、ワークショップ形式で意見の共有・議論を行う。
- 実施目的：
 - ①将来どのような大人になりたいか。
 - ②そのために必要なスキルや資質は何か。
 - ③それらを身につけるのに必要な教育、必要なことはどのようなことか。
 を各グループで共有し、議論することで、現に教育を受けている学生から、主に教育大綱の「基本方針3」、「基本方針4」に対する意見を聴取していく。

4 教育大綱（案）資料2への反映状況

- ワークショップでの意見（資料1－3）
「生徒だけで何かに取り組む機会の創出」が必要
⇒大綱6ページ目：子ども同士の協働を加筆した。
- ワークショップでの意見（資料1－3）
「他学年や他校、地域の人との交流機会」が必要
⇒大綱6ページ目：他者との対話や協力の視点を加筆した。



ワークショップの様子